# 令和４年度　兵庫県立大学附属高等学校　学校関係者評価

(学校評議員9名の回答)

| | 評　価　項　目 | A | B | C | D | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 学校教育目標・重点目標は、本校が目指す学校づくりを実現するために、適切に設定されている。 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 項目内容は、学校教育目標・重点目標を達成するために、本校の現状や課題を踏まえ、適切に設定されている。 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 項目内容は、ほぼ達成され、そのプロセスは適切である。 | 6 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 学校自己評価結果に関する分析及び改善策は適切である。 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 学校評価の取組を通して、学校組織の活性化と教育活動の改善が図られている。 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 少人数クラス・少人数授業のシステムを活用した教育活動を展開し、魅力と特色ある学校づくりが進められている。 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 7 | 生徒は生き生きとして楽しく充実した学校生活を送っている。 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 学習指導が充実しており、生徒が進路実現を果たすための支援を十分に行っている。 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 教職員は相互に連携しながら熱心に教育活動に取り組んでおり、保護者の期待に応えている。 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| １０ | 家庭や地域に、学校に関する情報を積極的に提供・公表し、開かれた学校づくりが進めれている。 | 5 | 4 | 0 | 0 | 0 |

| | | |
|---|---|---|
| １１ | 意見欄 | ・様々な評価を用いて、それを改善に生かそうとされている点、高く評価できます。今後もエビデンスにもとづく教育改善を進めて欲しいと考えています。一方で、中高一貫教育や特別活動について、中学校では、生徒・保護者と教員との間に認識の乖離の落差が大きい項目があるので、なぜそのような落差が生じたのか、その理由の分析を今後は積み重ねる必要があると感じました。同様に高等学校でも、上記の2項目は評価3.8以下となっていますので、今後の検討課題と言えます。併設型中高一貫校としての特色を教育課程上にどう実現するのか、ということとあわせて考えていただければと思います。<br>・昨年同様、学校や地域はもちろん、世界的規模で実施されていることに驚きを感じました。今後の教育活動の参考にさせていただきたいと感じました。<br>・いずれも素晴らしい教育活動が実践されています。教職員及び関係のみなさまのご尽力の賜物です。教職員数に余裕があればさらに深い実践がなされるものと期待しますが、増員は学校だけではかないません。教育プログラムおよびコース制の運用においては、現実に即した工夫が必要となります。生徒の皆さんにとっても教職員の皆さんにとっても適切かつ有効な方向への改善を常に行っていただきたい。これだけ素晴らしい教育を実践し、生徒さんの満足度も進学実績も高いにもかかわらず、残念ながら高校の入学定員を充足できないことは、広報の不足だけではない構造的な課題があることを示しています。入試などでの対策をお考えのようですので、その効果に期待いたします。<br>・コロナ禍でもありましたが，きめ細かな教育と生徒指導が実施されていると思いました．今後も附属高校と教職員の皆様と生徒さん達のご活躍とご健康を祈念いたします．<br>・生徒のアンケートからも充実した学校生活が送れるような内容になっていると思われる。中高大連携や国際交流など附属高等学校の特色を最大限生かし、定員割れの解消に向けた広報活動に力を入れていただきたい。 |

（　評価　A：すごくそう思う　　B：どちらかというとそう思う　　C：どちらかというとそう思わない　　D：まったく思わない　）